

授業科目名		生活支援技術Ⅱ			担当者		植田 房子	
配当学科・研究科		社会福祉			NO.		HS-SW-2-506	
必修・選択	選択	単位数	5.0	時間数	75	授業形態	講義	
年次	2			履修期	2017年度 秋学期			
テーマと到達目標		介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。						
概要		講義・演習を通し、介護に必要な知識・技術・態度を学ぶ。						
評価方法		・さまざまな高齢者の生活のイメージができ、要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則を（方法・留意点・その根拠等）理解でき、介助することができる。・講義・演習時の積極的な参加、ルールを守り安全に演習することができる。（80%） ・受講姿勢（10%） ・課題（レポート、提出物）（10%）						
履修条件・注意事項								
自己学修								
オフィスアワー								
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者	
				1. 生活と家事	講義	植田		
				2. 快適な居住環境整備と介護	講義	植田		
				3. 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				4. 介護技術演習（ベッドメイキング）	演習	植田		
				5. 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				6. 介護技術演習（移動・移乗）	演習	植田		
				7. 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				8. 介護技術演習（食事）	演習	植田		
				9. 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				10. 介護技術演習（入浴・清拭）	演習	植田		
				11. 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				12. 介護技術演習（排泄）	演習	植田		
				13. 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				14. 死にゆく人に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				15. 死にゆく人に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	講義	植田		
				16. 試験	試験	植田		
教科書								
教・書籍名1					教・出版社名1			
教・著者名1					教・ISBN1			
教・書籍名2					教・出版社名2			
教・著者名2					教・ISBN2			
参考書								
参・書籍名1					参・出版社名1			
参・著者名1					参・ISBN1			
参・書籍名2					参・出版社名2			
参・著者名2					参・ISBN2			